

2026年 新年 『としま子どもカルタ大会』



カルタ大会

決戦の日 2026年1月31日（土）

決戦の場所は『雑司が谷丘のよテラス』

豊島の町がもっと好きになる『としま子どもカルタ』を使って、
友だちと一緒に、熱い戦いに挑もう！皆さんの参加を待っています！

開催日時 2026年1月31日（土）午後1時より4時ごろまで

開催場所 雜司が谷公園 丘の上テラス室内会場（雑司が谷2-11-1, tel. 5962-0445）

主 催 東京池袋豊島東ロータリークラブ

後 援 豊島区教育委員会

カルタ大会の参加者 豊島区小学校 4年生以下の小学生 参加費無料

応募の方法 各保護者の方から下記の方法で、1月26日までにお申し込みください。先着50名まで

①メールでお申し込み info@ikebukuro-toshimah-rc.org

②東京池袋豊島東ロータリークラブのホームページより申し込み可能です

<https://www.ikebukuro-toshimah-rc.org/>



『としま子どもカルタ』のデジタル版で絵札、名札をおぼえましょう！

大会運営

東京池袋豊島東ロータリークラブ

運営ご協力 NPO法人 雜司が谷ひろばくらぶ

連絡先事務局 豊島区池袋2-61-8

Tel 03-3985-7577 fax 03-3590-6644



東京池袋豊島東ロータリークラブ 第 18 回例会 2025/12/18

Weekly Report



会長：榎原一久 幹事：佐藤美枝子 RI会長：フランチェスコ・アレツツオ 第2580地区ガバナー：中川雅雄

四字熟語でロータリー

和光同塵

(わこうどうじん)

仏が光を和らげて隠し、塵や埃で汚れた世間に混じって人々を救済することです。知恵ある人がその知の光を和らげ隠し、俗世間の人々の中に同化して交わることです。ロータリーでは、世間に公表するのではなく、陰徳による奉仕活動が実践されています。（小泉博明）

本日の例会

12月18日(木)夜間家族例会

17:00 登録開始

17:30 例会開会

17:50 例会閉会

18:00 親睦会

20:10 終了

幹事報告

なし

ニコニコ

石川会員 AグループHMの残金です。

本日の合計額: 7,250円

今年度ニコニコ累計額: 187,250円



12月11日 例会報告

司 会 長尾会員

開会点鐘 榎原会長

ロータリーソング

ソングリーダー 加古会員

会員総数 30名

出席規定適用者数 24名

本日の出席者総数 20名

〃 免除者出席数 5名

本日の出席率 68.96%

会長報告

1 本日は社会奉仕委員会によるフォーラムが行われます。

2 例会終了後、年次総会を開催いたします。

12月

受 付：細田新子会員 高木義男会員 横山晴夫会員
司 会：高木義男会員 ニコニコ：野口昇兵会員
写 真：細田新子会員 ソングリーダー：里見雅行会員



社会奉仕フォーラム



社会奉仕委員会 里見雅行委員長

12月11日(木)の例会で、社会奉仕フォーラムを開催しました。この中で、今年度の3つの社会奉仕活動についての会員の理解を促進するため、「錦華学院と協力した活動」について佐藤美枝子会員から、「としま子どもカルタ」について長尾益男会員から、「としま子ども講談教室」について、小泉博明会員から説明がありました。

東京池袋豊島東ロータリークラブ
社会奉仕委員会フォーラム

1)社会奉仕委員 佐藤 美枝子

2)社会奉仕副委員長 長尾 益男

3)社会奉仕副委員長 小泉 博明

司会 里見 雅行 社会奉仕委員長



社会奉仕委員会 佐藤美枝子委員

錦華学院の奉仕活動について

歴史 2010年ごろ、児童虐待対策の進まぬ状況を見た東京豊島東ロータリークラブの社会奉仕委員が、ロータリー活動として取り組みはじめた。2012.11.オレンジリボン活動(マスクの配布)を、JR大塚駅前ではじめた。(虐待予防月間)その後、例会において虐待予防全国ネット理事長を卓話者としてまねく。2013年から虐待被害児の保護施設(錦

錦華学院)への支援が始まる。支援内容 樹木整備(シルバー人材による)、学園祭に参画、物品の寄贈、支援依頼を受けて専門職会員の派遣協力等。専門職会員の派遣については、思春期セミナー(産婦人科医の話)3回#1、命の大切さセミナー(小学生低学年生にむけて助産師の話) #2等を行ってきた。2022、7クラブ合併事業あり。2022、6のセミナーからインターバルを置いて、2025、10に合併クラブとしての初めての活動を行った。学園祭に参加しバザーを行い、収益を寄贈した。

#1 ロータリーの友 2020年4月号 p10~11

#2 ロータリーの友 2022年10月号 p44

佐藤美枝子 記

社会福祉法人『錦華学院』への奉仕活動



社会福祉法人『錦華学院』への奉仕活動



いここのために手を取りあおう

2025-26年度 国際ロータリー会長のメッセージ



社会奉仕委員会 長尾益男副委員長

創立60周年記念事業

小学校で始まった『ふるさと学習』の支援活動
子供たちが『としまは私のふるさと』『思ってもらいたい』
『としまこどもカルタ』『としまお国自慢こども地図』の作成

『としまこどもカルタ』
2018年12月18日 カルタ完成 800部、
冬休み前に全小学校に配布、海外からの子供全員に提供
2019年2月 カルタ大会開催

『としまお国自慢こども地図』の作成
3月 地図の完成
全校生徒に配布予定



『としまこどもカルタ作成』

応募作品1200点 最終選考46点内の数点



『としまこどもカルタ』

2019年カルタ大会 開催



としまの子供たちへふるさと学習支援活動
2023年3月 東京池袋豊島東ロータリークラブ

としま子どもカルタのデジタル化



としまの子供たちへふるさと学習支援活動

今後の計画 『としまこどもカルタ大会開催』

2025年12月15日～
冬休み前に豊島区全小学校生(4年生以下)にメール配布
豊島区教育委員会 後援
NPO雑司ヶ谷公園 ひろばくらぶ 協力

2026年1月31日(土) カルタ大会開催

場所: 雜司ヶ谷公園内 丘の上テラス
参加者: 目標人数 50名
費用: 会場費、賞品、告知(ホームページ等)等 86,000円



社会奉仕委員会 小泉博明委員

としま子ども講談教室

2024年～25年度に「第2580地区ロータリー財団地区補助金プロジェクト」を活用し、未来を担うこどもたちのウェルビーイング(well-being)を高める「としま子ども講談教室」を豊島区内の小学校8校、中学校2校で実施した。引き続き、今年度は小学校2校で開催する。内容は、講談師宝井琴鶴(真打)と弟子の宝井小琴(二つ目)、宝井琴人(前座)の3人による2時間連続の「道徳科」の授業である。豊島区の民話「鬼子母神」「とげぬき地蔵」も織り込み、道徳教育だけではなく、郷土学習、言語活動に資するものである。アクティブラーニング型の授業で、こどもたちは、張扇を叩き講談を真剣に、かつ楽しく読み学び、笑顔が会場に溢れた。授業の様子は「豊島新聞」「としまテレビ」に、記事として取り上げられた。授業後に寄せられた、こどもたちの感想文を読むと、日本の伝統文化、話芸を体験した満足感が綴られ、好評であり、次年度も来校して欲しいという多数の声が届いた。なお、このプロジェクトは継続的に実施し、さらなる評価を得て、最終的にはロータリーから離れ、行政に委託することを期待している。「としま子ども講談教室」の実施に当たり、開催校の教職員の皆様、近隣クラブを含めロータリークラブ、NEXTロータリー衛星クラブ、ロータークトクラブの皆様のご支援とご協力に感謝する。

(小泉博明)